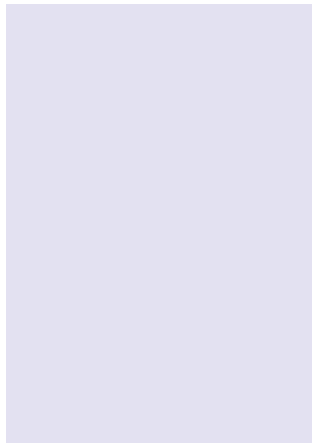
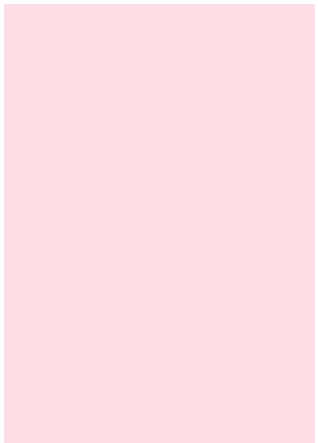
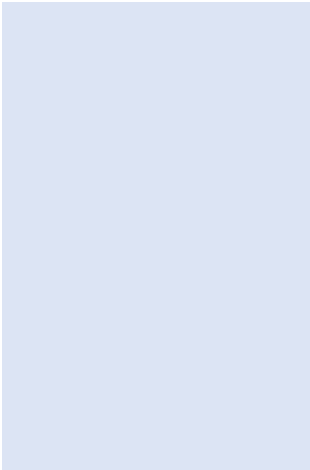


Time to start school
Family guide to starting Kindergarten

学校の開始にあたって

Kindergarten入学についての保護者向け案内



学校の準備チェックリスト

それぞれの問題を終了したら印を付けて下さい
(すべての問題が全員に該当するわけではありません。)

お子さんが入学する前の年

- 学校または移行プログラムの説明会に出席します。
- 予防接種を受ける時期に子供の聴力と視力を検査してもらいます。
- お子さんがアレルギー、疾患、特殊なニーズを持っている場合には、学校にできるだけ早期に伝え、校長との面談を取付けて下さい。
- 該当する場合には、トラベルパスの申請書に記入して下さい(5頁参照)。
- 始業前と終業後に誰がお子さんの面倒を見るかを決めます。必要があればOOSHの申請書に記入して下さい(5頁参照)。

学校生活のために購入の

必要がある物品

- 制服(夏、冬、運動)。
- 日よけ帽(通常は制服の一部)。
- 通学用靴と運動靴(子供が自分で靴ひもを結べない場合はマジックテープを使うのも一案)。
- バックパック(学校で購入可能な場合もあり)。
- ランチボックス(子供が自分で開けられる物を選ばせる)。
- 飲料ボトル。
- レインコート。
- お絵描き用のシャツ(古いTシャツで十分)。
- ライブラリーバッグ。

お子さんが学校に入学する年

- 1月 - お絵描き等学校に入ったら子供が行うことを、毎日時間を設けてお子さんと一緒に試してみるのも良いでしょう。
- お子さんの持ち物すべてに名前を書くのを忘れずに!
- 学校の電話番号を調べて下さい。
- 男の子の場合、小便器の使い方をもまだ知らなければ教えて下さい。

学校初日の前夜

- 子供の服、靴、靴下を並べておいて下さい。
- お子さんのランチを今夜中に作って、冷蔵庫に入れておくのも良いでしょう。
- スクールのバッグに物を詰めるのを手伝ってあげて下さい。
- 予備の下着、靴下、着替え一部ずつをビニール袋に入れてバッグに詰めておきます。学校でお漏らした場合に備えて、着替えがバッグのバッグに入れてあることをお子さんに教えておいて下さい。

初日

- お子さんとともに、学校の初日を前向きな態度で楽しみに迎えるようにしましょう。
- できる限り自力で服を着させて下さい。
- 長い髪は後ろで結ぶか、三つ編みにします。
- 毎朝、お子さんに日やけ止めを塗るようにします。教室の外では、スクールハットをかぶらなければなりません。
- 記念写真を撮るのを忘れなく!

学校での一週目

- スポーツ、アート、読書といったアクティビティのために家から学校に持っていく物が必要な場合には、学校から連絡があります。
- 子供達は学校の第一週間は非常に疲れるものです。十分な睡眠を取らせて下さい。
- 一日元気で過ごせるようにヘルシーな朝食を与えて下さい。お子さんが毎日、誰か迎えに来るのを知っているようにして下さい。
- 学校からの連絡やランチの食べ残しを確認するためにお子さんのスクールバッグの中味を確認して下さい。
- 毎朝の日課を確立するようにして下さい。
- 家での読書の時間を設けるようにします。
- 可能であれば、保護者による学級のお手伝いについて教師と話して下さい。
- 学校での一日についてお子さんと話をします。
- 学校が始まった後も、子供がぐっすり、外で遊び、さらには好きなことをする時間を持つことがとても重要です。



お子さんの学習

Kindergarten入学までに身につけておく必要のある具体的なスキルはありません。つまり児童が読み書きできることは期待されていません。大切なことは児童と保護者が安心して学校生活を始めることです。

学校が始まる前にお子さんと一緒に試みるアクティビティ

下記は、子供達が学校での学習内容に慣れるように、学校が始まる前に保護者が子供と一緒にできることの例です。

言語技能

- 一緒に歌を歌う
- ジョークや音韻遊びを言い合う
- カバンの詰め方等、子供に簡単な指示を与える
- 絵や写真を見る等、楽しく本を活用する
- 本、雑誌、テレビ、インターネットの絵・写真の内容を言い当てる
- 会話に加わるように促す

書く技能

- 鉛筆、マーカー、クレヨン、絵筆を渡したり、砂場では棒を与えたりして、絵や字を描かせる
- 数字や文字を書く
- 自分の名前の最初の文字を大文字で書くようにしつける(例、Jack)

算数技能

- 「たくさん、多い、もっと、少ない」等の言葉を使って、子供に数を認識させるように促す
- 形の違い等、グループの中で異なるものを見つけられるように助ける
- 反対について話をする(上と下、前と後、昼と夜等)

身の回り/社会的な技能

- 子供が他者と分ち合ったり、順番を守ったりすることを学べるように、他の子供達と遊ぶ時間を設ける
- 遊んだ後のおかたづけをうながす
- 自分のフルネームと住所を言うことを学ばせる
- ルールが存在することとそれには理由があることを気付かせる

身体的技能

- はさみの使い方を練習させる
- 積み木やその他のパズルで遊ぶ機会を設ける
- 片足飛びやスキップ遊びをさせる

遊びを続ける

遊びは子供達が持つ最も大切なニーズのひとつであり、これはKindergarten入学後も変わりません。遊びは子供の健全な発育のあらゆる面を促進します。

子供達が遊ぶのは、それが楽しいからです。遊ぶ際には実際は多くを学んでいます。子供達が遊ぶ時には、体と創造力を駆使し、意思疎通と協調の方法を学んでいます。物事のしくみや感情を対処する方法についても学びます。学校から帰宅後はお子さんがリラックスして遊べるように自由な時間をいつも設けるようにして下さい。



学校の順調なスタート

学校が始まる前に家庭で準備をしておくと、保護者も子供も安心して楽しく学校生活をスタートすることができます。

お子さんの入学準備

入学の時期が迫ってきました。あなたのお子さんは、胸躍るような新たな体験の第一歩を踏み出そうとしています。お子さんの入学準備にあたりどこから始めたら良いのか迷ってらっしゃる方もいるかもしれません。

学校入学はだれにとっても大きな一歩です。お子さんの学習を支えるために保護者と前向きな関係を築くことは私たちにとって不可欠です。有能な教師とサポートスタッフで構成される私たちのチームは、お子さんが可能な限り最良のスタートを切ることができるようにお手伝いします。

保護者にとって学校の第一の窓口となるのは、学校の事務職員です。事務職員達は学校事務局の親しみやすい顔と言えるでしょう。職員達は、保護者が必要とする一般的な情報の案内を行います。さらに保護者が、校長、教師、その他の学校職員に話をする必要がある場合には、事務職員が面談を取付けます。



家庭での準備

学校が始まる前に、準備し、予算を組み、計画をする等必要なことがいくつかあります。

予算組立

学校に入学する際には、制服や通学用の靴の購入等、新たな出費を必要とするため、こうした品目のために前もって予算を立てておくとう便利です。お子さんを放課後の託児施設にあずける必要のある場合には、その経費も予算に組込んでおく必要があります。

制服

制服とその購入場所については学校から通知があります。帽子は直射日光から保護するために制服の一部となっています。制服には夏服、冬服および運動服があります。制服もしくは制服をつくるための素材の取扱店については、学校にお尋ね下さい。

経費を押さえるために、多くの学校は寄付された中古の制服の販売を行っています。

お子さんの入学手続きをまだ済ませていない場合には、学校に行き入学手続きを行って下さい。その際に、お子さんが特殊なニーズやアレルギーをかかえる際は、学校長に伝えておくことが大切です。

寄付金

学校は教育およびスポーツ面のプログラム向上の目的で、任意の寄付金を依頼します。年間を通じて、学級での学習活動を充実させるために遠足の費用の出費を求められることもあります。またお子さんがスポーツや楽隊など追加的な活動に参加する場合には、器具の賃料や行事への交通費などの支払が必要な場合もあります。

財政援助

学校教育の費用をまかなうのが困難な場合には、校長との面談を取付けて、状況を話し合ってください。学童補助制度 (Student Assistance Scheme)による補助を受けられる場合があります。



就学時間外の託児

就学時間外 (Outside of School Hours - OOSH) の託児サービスは学校もしくは学校付近で運営されています。お住まいの地域での託児サービスに関する情報は学校にお尋ね下さい。これらのサービスは有料ですが、その費用の補助として、保育手当 (Child Care Benefit) の受給資格がある場合があります。



すべての物にお子さんの名前を書いて下さい

以下を心がけて下さい:

- 服、帽子、靴等に消えないランドリーマーカーで名前を書くか、もしくは名前のラベルを縫い付けるかアイロン接着する。
- 洗濯後名前が色落ちしていないか確認する。
- 毎晩、お子さんのバッグの中味を確認する。
- すべての学校には、紛失物のコーナーが設けているため、お子さんが持ち帰っていないものがあれば事務局に尋ねる。



学校での生活

始業と終業の時間は学校により異なりますが、一般的には月曜から金曜の午前9時に始まり、午後3時に終わります。児童が食事をして、遊ぶように休み時間とお昼休みが設けられています。

また一日の初めや終わりに生徒が一同に会し、学校長、教師、生徒のリーダー等による話を聞くための集会が開かれることもあります。

学校は義務教育です

学童年齢の子供達は全員学校に行かなければならないことは、法律で規定されています。子供が学校に行かない時は、子供達は大切な情報を見逃すことになり、学習の流れが途切れてしまい、しいては自信を失うことにもなりかねません。さらには友情を育む機会をも見逃していることにもなります。こうした要因すべてが学校および学力に対する子供の態度に影響を及ぼします。

お子さんが遅刻または欠席する場合

お子さんが遅刻する場合には、登校時に保護者が事務局で署名しなければなりません。またいかなる理由であれ、お子さんを早退させる場合も同じ手続が必要です。

お子さんが欠席した場合には、保護者は欠席の理由を学校側に届ける必要があります。届出は普通、欠席理由を説明した手紙を子供が学校に戻る日に担任の教師に手渡す方法で行われます。電話で学校に届けることもできます。

終業時の出迎え

毎日、学校の終業時には学級が決まった場所に一同に会します。担任の教師は子供達とともに保護者の迎えを待ちます。お子さんおよび担任の教師が、毎日誰が迎えに来るかをわかっているようにして下さい。保護者やその他の人が迎えに来るのが遅いと、子供達は気分を害することがあります。適切な出迎えの時間について、教師に確認しておいて下さい。

日課を設ける

Kindergartenの児童たちはあまりに多くの目新しく刺激にあふれた活動に参加するため、夜には疲労しがちです。このために、入浴時間、食事や読書の時間等できる限り決まった時間帯に日課を設けておくとういでしょう。毎晩の十分な睡眠が大切です。



届出

お子さんが欠席した場合には、以下の情報を記載した届けを提出して下さい:

- お子さんの氏名と学級
- お子さんが欠席した日付と日数
- お子さんが欠席した理由の説明
- 必要があればその他の情報

お子さんが三日以上欠席する場合には学校事務局に事前に届け出るようにして下さい。学校に戻る時にも、やはり届出が必要です。

届出の様式および34カ国語に翻訳された資料については以下をご覧ください。

School Attendance

<https://education.nsw.gov.au/public-schools/going-to-a-public-school/translated-documents>

安全な登下校

学校前の横断歩道を渡る時はお子さんの手をつなぐことを忘れないで下さい。学校付近の通りは午前午後とも混んでいます。横断歩道の上やその付近の駐車は避け、すべての安全・停車禁止の標識を守って下さい。

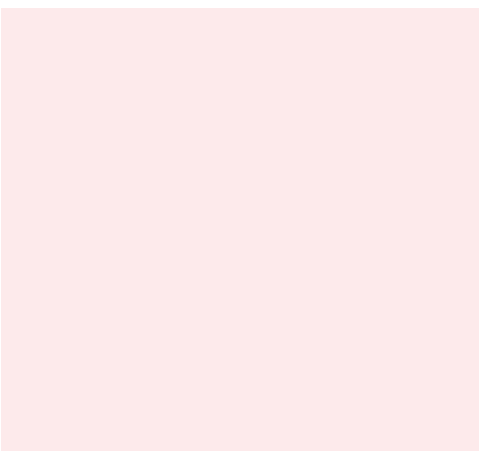
才能のある子供達

才能のある児童は、知的、創造、社会、身体の技能の分野で平均値を超える可能性を秘めています。NSWの公立学校では才能に恵まれた子供達のための機会が設けられています。関連のプログラムについては学校長に連絡の上、相談して下さい。

特殊なニーズを持つ子供達

お子さんが障害や特殊なニーズを抱える場合には、できる限り早いうちに学校長に伝えて下さい。Department of Education and Trainingは障害を持つ児童を支援するために各種のスペシャリストによるサービスを行っています。

重度の学習障害、中度の知的障害、言語障害を抱える児童など、学習が困難な児童については学校で学習補助プログラムを通じて補助が行われています。



心配な点がある場合には、学校訪問、電話、Eメールのいずれかの方法で学校側に相談して下さい。必要があれば通訳も利用可能です。





児童の保護

学校では常に子供達の力になる誰かがいるということを保護者と児童が知っていることが大切です。学校はさらに、児童をサポートし、児童の安全を確保するプログラムを実施しています。

児童の安全と福祉の確保

学校の運動場で監視が行われる時間帯、迎えに来る時の手順、子供が常に保護されるように取り計らうその他の方法については学校から説明があります。

教師

NSWの公立学校の教師は、大学教育を修了したプロフェッショナルです。教師は子供達のニーズに配慮を行い、子供達を援助・指導する役目を担っています。担任の教師から、教師と保護者の間の連絡方法とお子さんの発達状況について連絡があります。学校での学習や活動に影響するようなお子さんの生活上の変化については担任の教師に連絡するようにして下さい。

スクールカウンセラー

スクールカウンセラーは、経験を積んだ教師であるとともに、スクールカウンセリングを大学院で専攻した心理学者としての資格も有しています。カウンセラー達は学校または家庭で問題を抱える児童の援助を行うことができます。さらに必要な場合には、学校外のサービスを家族が利用する際の補助を行うことができます。スクールカウンセラーとの面談の際は、通常はまず学校に電話をして予約を取付ける必要があります。

いじめ防止

公立学校はすべて、適切な行動を促し、自尊心と他者への尊重心を育むピアサポート等のプログラムを設けて、いじめ防止に積極的に取り組んでいます。学校はさらに、いじめやハラスメントに対処するための計画を実施し、学校職員はこうした状況に対処できるように訓練を受けています。学校はいじめ対策については事務局にてその写しを手に入れることができます。

追加的保護

公立学校は、必要な際にはその他のサポートスタッフを準備します。

こうしたスタッフには以下の職員が該当します:

- 学習障害を抱える児童のための補助教員
- 第二言語としての英語 (English as a second language - ESL)を教える教師
- 地域社会情報連絡員
- アボリジニ教育担当者。



お子さんの行動で大きな変化に気付いたり、お子さん本人や学校生活について心配があったりする場合、お子さんの担任、スクールカウンセラー、学校長に相談することができます。心配事はできる限り早いうちに相談することが勧められます。

アタマジラミ

子供にアタマジラミが発生することはよく見られることであり、清潔度とは関係ありません。アタマジラミは子供達が接触することで感染しますが、健康への危害はありません。

お子さんのアタマジラミの発生を防ぐには:

- お子さんの髪を定期的に検査する
- 長い髪は後ろで結ぶ

お子さんにアタマジラミが発生したら:

- 大きな櫛で髪の毛のもつれをとかしたら、専用のホワイトコンディショナーを目の細かい櫛で延ばし、アタマジラミとその卵 (nits) を除去します。卵が見当たらなくなるまで、これを毎日続けます。
- 通学は続けさせます。
- 学校に知らせて下さい。そうすれば学校は他の児童に髪を調べるように指導できます。あなたのお子さんがアタマジラミを持っていることは明らかにしません。
- 学校では、校内のアタマジラミの卵を一掃するために「ニットバスター (卵撲滅)」の日を設けることがあります。

関連資料の翻訳版

Head lice parent information sheet
<https://education.nsw.gov.au/public-schools/going-to-a-public-school/translated-documents/head-lice-treatment-options-information-for-parents>



子供が病気になったら?

学校で

学校で児童が病気になったり、怪我をしたりした場合には、学校は保護者に連絡して、必要な医療手当を施します。児童の病気の程度が軽い場合には、通常は学校事務局のそばにある保健室へ行き、そこで横になって様子を見ることになります。授業に戻れないほどの重い症状であれば、保護者に早く迎えに来るように連絡が行われます。このためにも、学校側にはあなたの現在の連絡先を必ず伝えておくようにして下さい。

家庭で

お子さんが以下の状況に該当する時は、お子さんを登校させず、医師に診てもらって下さい

- 熱が38°C 以上ある
- 嘔吐または下痢
- 重度の風邪やインフルエンザの症状
- 原因不明の湿疹。

日焼け対策

学校は、校内にて可能な限り日よけを設けることと、帽子を制服の一部とすることで、子供達を直射日光の有害な作用から守るように努めています。運動場で遊ぶ時は帽子を必ず着用し、着用しないならば日陰で遊ばなければなりません。さらに日光から眼を守るために子供達はサングラスを着用することもできます。

家庭においては、日課の一部として、毎朝登校前に日焼け止めを塗るようにして下さい。

医療上の問題

お子さんが病気やアレルギーを抱えていたり、アナフィラキシーのおそれがあったり、あるいは処方薬の服用を必要としたりする場合には、学校側に必ず伝えておかなければなりません。この種の情報は通常、入学手続の過程で伝えることになっていますが、お子さんの健康について何らかの変化がある場合には、それを学校に伝えることも同様に重要です。

アレルギー

アナフィラキシーは、ナッツや甲殻類など特定の食品または虫刺されを原因とする急激かつ重度のアレルギー反応です。お子さんが特定の食物に対する重度のアレルギーを抱えていることが診断されている場合には、できる限り早いうちに学校長に伝えて下さい。そうすれば学校側で既知のアレルギー誘因物への露出を最小化するための対策を実施できます。それから、食堂メニューの見直し等で、学校の食堂責任者への協力をお願いすること等もあります。





健康的な学校生活

学校で十分な活力と集中力を確保するために、児童には健康的な食べ物が必要です。お子さんが朝食に取る食べ物は、休み時間までの午前中を元気に過ごすための栄養を与える食品でなくてはならず、その後終業時までを過ごすために休み時間と昼食時には各種の健康的な食べ物を取る必要があります。

学校での食事

児童にとって、学校での食事は家庭やプリスクールでの食事とは異なる体験です。食べ物を温めておいたり冷やしておいたりする場所はありません。子供達は芝生やベンチに座って、食べ物を膝の上に乗せて食べることもよくあります。食べ物を包んでおく場合は、子供達が容易に開けられるような包み方でなければなりません。子供達は遊ぶ時間が惜しいので、食事にはあまり時間はかけたがらないものです。

飲食のヒント

- 開けやすく、食べやすく、汚れたり散らかったりしない食べ物を詰める。
- ランチボックス、飲料ボトル、その他容器には子供の名前を書く。
- 食べ物を冷やしておくためには凍らせた飲料ボトルを入れる。水漏れの場合に備えて、ボトルは布巾で巻いておく。
- 保冷式ランチボックスやクーラーバッグを使う。
- ビニールラップは子供には剥がしにくいいため、使わないようにする。
- 果物は傷がつかないように周りにティッシュか紙を詰める。
- 食事の前に手を洗い、休み時間と昼休みにはお手洗いにいくように言い聞かせる。
- ランチを前の晩に作る場合は、通学時まで冷蔵庫に保存しておく。
- 飲料水のボトルは毎日入れ替え、水がなくなったら水道か水飲み場から水を補給できるところを子供に教えておく。

休憩時間とランチのアイデア

- 果物を小片に切って（リンゴ、洋梨、バナナは変色を防ぐためレモン汁を少しかけておく）、小さな容器に入れる。
- 人参、セロリ、胡瓜等の野菜を切って、ワンタッチで開封可能なビニール袋に入れておく、別の容器には、野菜に着けて食べるディップやヨーグルトを入れておく。
- 全麦のマフィンを作り、冷凍しておく。休み時間用にマフィンを持たせるか、午後のおやつとして家で食べさせる。
- 夏場のさわやかなおやつとして、凍らせた四つ割りのオレンジやパイナップルを持たせる。
- ロール、ピタ、全粒、トルティーヤラップ等の様々な種類のパンを食べさせる。
- トマトを使う場合には、薄くスライスして、サンドイッチが水分でべたつくのを防ぐために他の具の間に挟む。
- 夕食を余分に作って、残りを翌日のランチにとっておく。キッシュ、自家製のピザ、野菜のパテ、野菜のロースト、ヌードルサラダ、ソーセージ等は作り置きが可能。

ランチを食べ残す場合

最初はお子さんがランチを食べなくても心配しないで下さい。子供達は食事時間中に興奮していたり、友達と遊ぶのに忙しかったりしてランチを全て食べないこともよくあります。

子供が帰宅後極度にお腹をすかせる場合には、ランチをしっかり食べるように言い聞かせるのも良いでしょう。子供の食事の習慣はやがては落ち着きます。



Kindergartenの学級

Kindergartenの学級は楽しく面白い場所です。子供達は一緒に床でパズルをしたり、カビーハウスの中で遊んだり、あるいは先生が本を読んで聴かせたり、机に座って字や絵を描いたりします。子供達は数、形、パターン、理科について学び、歌を歌ったり、図書室を訪れたり、コンピューターを使ったりする他、様々な活動に参加します。

お子さんが学校で学ぶこと

Kindergartenでの時間の大半は、子供の読み書きや算数の技能の向上に費やされます。子供達が小学校を通じて学ぶ主要学習分野として六つの教科があります。

それらの教科は以下の通り:

- 英語 (English)
- 算数 (Mathematics)
- 理科と技術 (Science and Technology)
- 創造芸術 (Creative Arts)
- 社会と環境 (Human Society and its Environment)
- 心身発育と保健体育 (Personal Development, Health and Physical Education)



電話通訳サービス

さらに詳しい情報をお求めの際は、学校にご連絡下さい。通訳の補助を必要とする方は、まず**131 450**の電話通訳サービスに電話して、あなたの母国語の通訳を依頼して下さい。その後オペレーターが学校に電話をかけ、通訳士があなたと学校の会話を通訳します。このサービスは無料で利用できます。

学校の情報の 翻訳版

多国語に翻訳された学校の情報資料については以下をご覧ください:

www.det.nsw.edu.au/languagesupport/index.htm



Education
Public Schools